

Compliance Guardian

メタデータ分類機能

メタデータとは

メタデータとは、「情報に関する情報」を意味します。メタデータは、例えばタイトル、作成者、内容、キーワード、作成されたデータなど、ドキュメントに関する情報を提供するメタタグの形式をとります。例えて言えば、メタデータとは、図書館のカード式蔵書目録におけるカードの電子版のようなものです。

なぜメタデータには価値があるのか

メタタグの価値は、ドキュメントの検索や、ドキュメントの秘密度の概算などに有用な情報を提供してくれる点にあります。個人によってタグ付けされた、一貫性があり質の高いメタデータは、検索の質を高めることができるほか、コンテンツの整理や構築に役立てることができ、結果としてより広い層によって使用可能になります。しかし、企業は機械抽出されたメタデータを利用して、メタデータを強化しようとする努力を重ねています。場所、コンテキスト、「ノイズワード」を除去してデータを評価する能力は、手動で入力されたデータの有効性を検証する上で、重要な動的情報を提供します。この意味で、データの検証は、データそのものと同等と言ってもよいほど重要性を持ちます。これにより、企業は検索およびデータセットを横断する検索機能を改善することができ、探している結果まで迅速に到達することが可能になります。結果として、エンタープライズ間でのコラボレーションを改善することができます。

メタデータのコンテンツ分類

メタデータのコンテンツ分類とは、クラスやカテゴリにコンテンツを適用することを指します。メタデータはコンテンツに埋め込むこともできるほか、管理されたメタデータとして外部化し、コンテンツそのものに接続させる、付属させる、あるいはコンテンツの場所を示させるなどの形式で活用することもできます。加えて、コンテンツを検査してメタデータを付加することもできます。この作業は自動もしくは手動、あるいはその両方を利用して行うことができます。いずれの方法にもメリットとデメリットがあり、メタデータスキームを導入しようとしている組織は、その両方を考慮に入れる必要があります。まず、コンテンツベースの自動分類システムは大変強力ですが、コンテンツの内容を見誤ることもあります。ユーザーによる割り当てや目録の場合であっても、ユーザーが意図的に分類を誤る、もしくは値を誤って設定することにより、同じ問題が発生します。

この分類の実行は、分類基準と呼ばれています。セマティック、つまりメタデータ分類アプローチの使用方法は、正しく導入されれば、高度に秩序立ったデータセットと有用なコンテンツ管理につながります。また、データや人々と、より効率よく対話する方法を提供するツールともなります。分類基準内では、管理用語もしくはユーザーが構築する用語を使用することができます。

多くの組織は無数のコンテンツを保有しており、その中には社内共有されているドキュメントや、顧客情報、従業員情報、知的所有物、社内機密情報などの機密情報を含むドキュメントも存在しています。扱いの困難なコンテンツの保持や、権限を持たない人間に機密扱いのコンテンツを閲覧されてしまうなど、高いリスクが存在しています。企業は、保持しているすべての情報を適切に整理し、情報へのアクセスを必要とする人に対して提供し、同時に必要のない人からは情報を保護することのできる環境を実現する必要があります。

Compliance Guardian メタデータ分類機能

Compliance Guardian の分類システム

メタデータ分類にとっての最適なソリューションは、検索可能性、可用性、セキュリティを増幅させるためにユーザー コラボレーションを取り入れたシステムです。AvePointの **Compliance Guardian** は、企業によるメタデータの生成とその扱いをお手伝いします。自動または手動でのユーザーによるメタデータ作成を可能にしたばかりでなく、組織のニーズに沿った形でのデータ処分関係の作業をも可能にします。

Compliance Guardian は標準化を通じてナレッジ マネジメントを統合し、改善することに加え、ガバナンスを完全に配備し、実行することができます。Compliance Guardian は、「管理」が「制限」を意味しないことをお約束いたします。コンテンツにタグ付けを行い、評価し、既存のメタデータに作業を行い、プロパティをファイリングすることにより、情報がデータ ライフサイクルに入る前に、適切に分類します。

信頼と検証

多くのエンタープライズ級企業では、「信頼と検証」というコンセプトが導入されています。「信頼」とは、ドキュメントの内容を一番よく理解しているのはユーザーであるとの認識のもと、タグ付けとドキュメントの分類をユーザーが行う権限を付与することを指します。その一方で、作業が適切に行われたかどうかの「検証」が実施されます。

Compliance Guardian は、メタタグ付けの概念をサポートしており、また SharePoint に入力され、スキャンされるドキュメントを自動的にタグ付けることが可能です。ユーザーがコンテンツを SharePoint にアップロードすると、Compliance Guardian は事前に決定されたポリシーに従い、自動スキャンに応じて適切なタグを示唆します。ファイルシェアを利用している企業では、Compliance Guardian により、リポジトリ内部に存在しているドキュメントに対する自動タグ付けの導入をサポートすることができます。

Compliance Guardian 分類システムの技術概要

- 1 つまたは複数の分類基準、管理用語、管理コンテンツ、管理構造とともに、分類されるコンテンツに関連する強化済みサイト プロパティを組み合わせることでフレキシブルに使用可能
- 埋め込み型のメタタグ（ファイルシェア、SharePoint 内部）や、SharePoint Managed Metadata、およびメタデータ分類エンジンを介したスタンド列への完全サポートを含むシステム メタデータを使用して、コンテンツのタグ付けを実行
- 既定のリボン型のドキュメント パネルや自動タグ付け機能を通じ、ユーザー主導でのタグ付けをSharePoint 環境で実現
- ファイルシェア環境での自動タグ付けをサポート
- ドキュメントや SharePoint メタデータの相違点を識別、解決して同期することで、プラットフォーム全体のメタデータ統一性を実現
- コンテンツ分類を元に、権限の割り当てや適切な場所への転送、情報がガバナンス ポリシーに準拠する形でのブロックや検疫を実行
- コンテンツをデータ内の定義されていない関係で分類可能。カスタマイズ可能なルール言語により、同じ動作を実行可能
- コンテンツ サーチ、データ損失対策、コンテンツ管理、リスク管理を容易に実現
- コンテンツを分類に従って移動、削除、検疫

Compliance Guardian メタデータ分類機能

作成者と自動分類インタラクション

機能	説明
埋め込みメタデータをサポート	ドキュメントへのデータ埋め込みにより、移動時のデータとメタデータの分離を防止します。
カスタム分類基準をサポート	コンテンツ管理システム ユーザーによる自作の分類基準の作成、管理用語の導入により、データ カタログ編成へのより詳細なアプローチを実現します。
自動分類	高度な用語サポートを援用し、複雑なルール タイプに従ってコンテンツを自動的に分類します。
ユーザーによるメタデータの入力を許可	ユーザーは、ドキュメントにメタデータを付与することが可能です。
ユーザーが選択したメタデータの質を保証	ユーザーはメタデータを選択可能であるため、分類システムはエラーを発見し、必要であれば訂正を実行する機能を有している必要があります。
ユーザーが入力したメタデータの質を保証	フリーフォームのテキスト フィールドにユーザーがメタデータを入力すると、システムは入力されたテキストがポリシーを順守したものであるか、またドキュメントに合致したものであるかを検証する必要があります。
セキュリティ可能なメタデータの移動	暗号化レベルはコンテンツの機密性と、サイト特有の分類に基づいて決定される必要があります。

分類ルール タイプ

ルール タイプ	説明
Does Text Exist	ドキュメント内、もしくはドキュメント メタデータ内のテキストの場所を利用して、メタデータ要素 (タグ) の値を決定することができます。
Conditional Text	上記のルールと同じく、ドキュメント内、もしくはドキュメント メタデータ内のテキストの場所を利用して、メタデータ要素 (タグ) の値を決定することができます。テキスト内の関係性を観察するための、より複雑な方法を提供します。
Dictionaries	テキスト ベースのルールです。既存の 1 つまたは複数の単語に基づいて、管理用語をアサインできるかどうかを決定します。
Element Validation	ユーザーが入力したメタデータからでも構造的エレメントからでも、エレメントに基づいたデータから意味を読み取ることができます。
Enhanced Elements	このルール タイプは、コンテンツの構造をより深く検証し、コンテンツのエレメントの中に存在するエレメントに関する情報を発見して、そこから意味を読み取ることができます。
External Content	コンテンツ内部のコンテンツを検索し、外部のサイトに存在しているコンテンツへのリファレンスに過ぎないコンテンツを発見します。
RegEx	ドキュメント内、もしくはドキュメントのメタデータ内の正規表現との適合箇所を利用して、メタデータ要素 (タグ) の値を決定することができます。パターン マッチに準拠してコンテンツを分類する、強力な方法を提供します。
Conditional RegEx	ドキュメント内、もしくはドキュメントのメタデータ内の正規表現との適合箇所が、別の正規表現パターン検索をトリガーできるようにし、メタデータ要素(タグ) の値を決定することができます。
Transport	Transport は、コンテンツをサーブする際に使用される HTTPS プロトコルの使用レベルをテストします。
Cookie	コンテンツに調整された、もしくは接続されたデータは、分類を決定するためにテストすることができます。
Custom	コンディションが発見された場合、外部機能の実行を許可します。
Batching/Super Rules	順序論理で 1 つあるいは複数のルール タイプを組み合わせ、管理用語もしくは単純な分類結果を生成することができます。